

2022 年度 福祉助成金（活動助成）成果報告書

ふりがな	とくていひえいりかつどうほうじん あったね	
団体名	特定非営利活動法人 Attane	
代表者名	理事長 桑島 章子	
連絡先	住所	岡山県岡山市北区庭瀬 2-1-202
	TEL	086-728-5811
	E-mail	info@npo-attane.com
	URL	https://npo-attane.com/
設立年（西暦）	2011 年	
助成活動名	（療育手帳等基準に満たない子どもも対象とした）何らかの困難を抱える子どもと親の居場所・相談事業	
助成額	500,000 円	
活動内容	目的	<p>① 療育手帳基準に満たないお子さんへの支援 何らかの困難を抱えてはいるが、療育手帳の取得基準には満たないという状況のお子さんは、利用できる福祉支援が少ないため十分な支援を受けにくい。誰でも利用することのできる「発達特性に配慮した環境」を整えることで、様々な状況のお子さん方が、一緒に居心地よく過ごすことのできる居場所の提供を行う。</p> <p>②保護者支援 何らかの困難さを抱える子の育児の大変さについては、周囲に相談しても共感を得られないことも多く、孤立化しやすいと言われている。交流の場の提供や子育て相談を行うことで、子育てへの戸惑いや将来の不安を軽減する。</p>
	内容	<p>1, 子どもの居場所作り事業（あそび空間ガジュマル）</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ICT 部門「マイクラユーザーの会（同じ趣味の友達と楽しく過ごし、仲間意識を育む機会をつくる）」 毎月第2日曜日開催+イベントマルシェ企画時ブース出展（8月14日、11月6日） ●あそび場部門（交流の場の提供） 毎月第2日曜日開催 <p>2, 発達の特性をもつ子の保護者対象の子育て座談会（おぼーるトーク会） 偶数月第3日曜日実施</p> <p>3, 育児相談（保護者個別相談） 2022年度33件相談実施</p>
	成果	<p>1, 子どもの居場所作り（あそび空間ガジュマル）</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ICT 部門「マイクラユーザーの会」 ・ゲーミングパソコンを活用することにより、パソコンゲームを初めてされたというお子さんも、楽しく快適に、パソコンの操作の仕方を体験することができた。 ・同じ趣味の友人と一緒に過ごすことで、仲間意識を育むことが出来た。 ・先に参加していたベテランのお子さんが、新たに参加したお子さんに操作方法を教える様子が見られ、ベテランのお子さんにとって、自信を得る良い機会となっていた。 ・不登校やその傾向のあるお子さんが、外出するきっかけ作りになった。 <p>●あそび場部門 未就学から小学生など、主に地域の親子さんが参加。お子さんが遊ぶ傍らで、保護者の方は悩み事の共有や情報収集、子育て相談などをされていて、子どもの居場所としてだけでなく、大人の居場所としても活用していただくことが出来た。</p>

	<p>2, 発達の特徴をもつ子の保護者対象の子育て座談会（おばートーク会） ふさぎ込まれていた参加者の方の表情が、会を重ねるにつれ、徐々に明るく変わっていかれる様子に、継続して行ってきたことの成果を感じた。</p> <p>また、他参加者の方が、不安や葛藤を乗り越えてきたご自身の体験談を話したり、勇気付けるような暖かな言葉をかけるなどが自然に行われている様子から、ピアサポートの場としての成長の手ごたえを感じた。</p> <p>3, 育児相談（保護者個別相談） 様々な専門分野の相談員を4名配置することにより、多様な相談内容にも柔軟に対応することができた。</p>
<p>今後の課題と対応策</p>	<p>親子の居場所作りに関しては、「こんな場所が欲しかった！」とお声を頂くことが多く、ニーズに対応できている手ごたえを感じている。しかし更に多くの親子さんに利用いただくためには、安定した運営体制を整えることが必要。現在はボランティアに頼る形であり、人材確保が脆弱な状況。専任で活動に携わることのできる人材の確保が課題である。参加者やスタッフを増やしていくためにも、SNSを活用し、活動周知に力を入れていきたいと考えている。</p> <p>座談会（おばートーク会）においては、様々な障害受容の心理状況（ショック期、混乱期、再起期等）の保護者の方が集う為、進行には配慮が必要。どなたでも安心して話をすることができる場の提供のためには、ファシリテーションの知識や技術をつけることが課題。研修等でスキルアップを行っていきたい。</p> <p>多様な悩みに寄り添うためには、発達の特徴に関する知識を持つ必要性を感じる。スタッフ対象の学習会を計画中である。</p> <p>また、保護者の方からは、発達特性に関する学習会の開催の要望も頂いている。今後は講演会や学習会の開催にも取り組んでいくことを考えている。</p> <p>子育て相談では、ご相談を受ける中で、保護者の方ご自身にも支援が必要（発達の特徴等の何らかの困難さを抱えている状況）であることに気づくこともあった。その場合、よりきめ細やかな困り感の拾い上げが必要となるが、座談会等の場では対応が難しいことが多い中、個別でしっかりと相談時間を確保することで、見過ごしがちな問題に気づくことが出来た。今後は、生活困窮に陥る前に何らかの対策（支援窓口の紹介など）を講じるような、防止策的な支援もできるのではないかと考えている。</p>
<p>写真の提出</p>	<p>別添</p>

あそび空間ガジュマル
ICT 部門



あそび部門



おぱーるトーク会



おぼーるトーク会託児

